

実施クラス	実施日	実施保育者名
5歳児 さくら 組	6月11日(水)	扇間 樹

● 実施計画

活動テーマ		
天気～雨と雪はどこからくるの？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
身近な天気の一つである雨と雪を扱い、どこからくるのか何でできているのかを子どもと一緒に身近なものを通して体感し、探究のきっかけにする。		
活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	
10:00	雲と雨についてのおさらいと行う。	実験① ・プラスチックのコップ
10:05	雨とは何なのか、雪とは何なのかを、写真を使って説明する。	・割り箸 ・常温の水 ・常温の色水 ・水
10:10	実験①を開始。 コップの中に水、色水を入れる。 そのまゝ放置して、実験②に移る。	実験② ・ワレット ・（おし金 ・プラスチックのコップ ・アクリル樹脂用接着剤
10:15	実験②を開始。 ワレットと接着剤を使って、雪の結晶を作る。	・接着剤ほ子とモリに解れさせないよう、説明をする。
10:25	実験①の結果を確認し、空気中に水が存在していることを伝える。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・ コップと氷をつかって、<u>空気中</u>に水があることを知った。</p> <p>・ コップに色水をそそいで、実験できることで、コップの外に色水が漏れていないことを確認する。</p> <p>・ 接着剤、フェルトを使って、雪の結晶を作る実験をした。</p>	<p>・ 「水が固まって氷ができてあがる」</p> <p>「水があがって量が増える」と、様々な考えがあがった。</p> <p>表面に水滴ができて、空気中に水があることを知った。</p> <p>雪の結晶では、「どうなる？」とじ、くわフェルトを見つめていた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>雪の結晶の実験では、一人だけ結晶を確認できたことか、どうすれば結晶化できるのか、そこを深掘りできることが、今後の気づきも広かると考えた。</p>	<p>天気の話には、興味を持っていて、自分の思いを謙にして伝えよう姿はあった。しかし、「雪」という季節違いのことだから、理解している園児は少ないかのように思えた。又水筒端は理解したもの、色水でわかりやすく説明はしてくれたものの、理解する園児は少ないか、やはり、1回のみではなく、機会を作って伝えていってほしいと思った。</p>



実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 さくら 組	9 月 19 日 (金)	山口

● 実施計画

活動テーマ		
「水はどこからくるの？」 「水がたいとこまるのはなぜ？」		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
水について考えたことにより、「なんで水道から水が出るんだろう？」と疑問に感じる様子があった。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
9=45	・水の絵本を見る。 (水の循環について知る)	難しい部分(は)わかりやすい言葉で伝える。
?	気づいたこと発表する。 (雨雲について話す)	ホワイトボードに記入
10=10	・浄水場について話す。	写真を見せつつ伝える。
10=15	・水が「お風呂」に「らぶ」はるか考える これから水を使うように使っていくには「いかに」発表する。	人間だけでなく、虫のよう(困る)考えられるよう(サポートする) 大切さについて気付かせるよう(話す)。

● 実施報告

探究活動の実践内容	動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> ・絵本を読んだ前(に)今までの振り返りとして水道について水がどうやって出来るのか考えさせた。 ・絵本の内容を理解した(か) (ページが)おま(で)確認しよ(か)ら読み進めていた。 ・水がないと困ることを考え、人間以外が困ることも考える時間を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「水は雨からできるよ」「川に流れる」「誰かが水をきれいにしてくれているよ」と考え(と)こ(と)を話していた。 ・水がないと困ることでは「手や体が洗えない」と話す(と)こ(と)が(多)かつた(=人間以外はどう?)と聞いても「大抵桶も体が洗えない」と話していた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>料理を作る(と)水が必要(な)こと、植物が育つ(に)水が必要(な)こと(は)おま(か)おま(か)つ(ま)か(ら)な(か)ら(=)こ(と)め、引き続き(伝)えていく(べ)き(と)感じ(た)。</p> <p>い(っ)た(ら)桶(で)の(る)過(実)験(を)覚(え)て(い)て水の(る)過(に)話(を)つ(ま)げ(る)こ(と)が(出)来(た)こと(は)良(か)つ(た)。</p>	<p>単に「水」についての話しは自分の経験の中で当たり前おぼえてきたことも教えてもらったこともないよあと参加して感じた。園児達は色々考えながら発表する姿は素晴らしいと思う。導入で少しでも頭の中に残るが、やり(り)機会があるときに、教えていきたい。生活の中での大切(な)な水(に)ついて保(育)者(も)興(味)を(も)つ(て)ほ(し)い。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 さくら 組	12月 12 日 (金)	屋間 樹

● 実施計画

活動テーマ

アートへのふしぎな絵

活動テーマに関する 日頃の興味関心について

暖色、寒色等の色について興味と関心あり、以前の探求ラボで行なったふしぎな絵に、面白さを見出した。

活動スケジュール

環境設定・準備物

時間	内容	環境設定・準備物
9:50	・トリックアートの観察 ・約11枚の絵を観察する。	・トリックアートの絵
10:10	・長さか違っ見えるアートの観察する。	・短冊 × 2 (20mm) ・短冊 × 4 (10mm × 20mm)  この形を作る。
10:25	・大きさ比べ 扇型の紙を切り、 どちらが大きいかをくらべる。	・大きさ比べの紙扇型 ・ハサミ
10:40	・最後のまとめ	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>トリックアート、絵を5枚ほど観覧し、目の錯覚について知る。</p> <p>テープを使った錯覚の実験も行い、どちらが長いか、短いかも聞く。</p> <p>どちらを一緒に見たときに驚いていた。</p> <p>扇の形も作り、どちらが大きいのか実験した。</p>	<p>「動いているように見える、不思議だね」と錯覚アートを楽しんでいた。</p> <p>テープを使ったものは、ペーパーを少しずつ取り分けて行なっていた。</p> <p>「大きいと思っただけ、同じだよ!」と気付いた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>最初に目でアートを見る、次に実際の物を使って錯覚を楽しむ、最後に自分の手で錯覚を体験することで、不思議な感覚を楽しむことができた。</p>	<p>目の錯覚というのは、おもしろいようで、楽しくもある。難しくもあった。しかし、子供達は最初「何だろう?」の顔だったが、少しづつ見方もわかり、「不思議だね」の声がでてきた。よく見ると、違った視点からの変化にも気付く「本当だ」の声も連発。とても良い体験をしたと思うし、子供がよく見て楽しんでいくツールとしてとても良いと思った。</p>

実施クラス			実施日		実施保育者名
5 歳児	さくら	組	2 月	3 日 (金)	昼間

● 実施計画

活動テーマ		
<p>お店屋さんごっこ"交換"体験</p>		
<p>活動テーマに関する 日頃の興味関心について</p>		
<p>限られた金額の模擬貨幣を使って、欲しい商品を自分で選んで購入する。</p>		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
9:50	<p>お金の種類の取り返し、 物々交換の取り返しを 行う。</p>	<p>レゴブロックを使って クイズをする。 模擬貨幣を使用</p>
10:00	<p>玩具などを使って お買い物ごっこをする。</p>	
10:15	<p>買った物を取り返す。 ↓</p>	
10:20	<p>物の価値を話し。 必要なもの、欲しい物 について伝える。</p>	

--	--	--

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・日本のお金のふり返し、以前出た質問の解答をした。</p> <p>・おもちのコインを使つて、お買い物のことをした。</p> <p>なぜそのおもちを買ったのか、質問をした。</p>	<p>「5円玉、50円玉は穴があいてるのは、そういう理由だ」と「んた〜ん」と関心していた。</p> <p>「コインは！何ですか？」とくわされたサインに興味をしめし、お買い物のことを楽しめた。</p> <p>「食べ物には、毎日元気に過すために必要。」</p> <p>「楽しい物は、遊んだら買つたおもちに置く。」と言っていた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>「必要なもの」「好きなもの」</p> <p>買い物には2つの種類があることを子どもたち自身が感じることから、活動のテーマに沿った内容を身がかせてあげることからできた。</p>	<p>二枚モノのお金をどうやって子ども達に伝え、加らせていくのかと考へた。好きな物、食べたい物の問いに一人一人（わり）答えることが出来ていた。1つの物とお金の枚数がたまたまあわらうたの園児もいたがその場々で伝え、考へさせたい方には交換するという意味と物の価値について気付いていったと思う。近頃は買物に行かずネット注文も多い為、このような遊びを通して、自分で考へた経験と積み重ねていってほしいです。</p>